



宝印刷株式会社 名誉会長

野村 正道
のむら まさみち



「私の蔵書」

「じゃあ 読もう」これは2010年「国民読書年」の標語です。今、読書離れが進んでいると言われていますが、出版文化産業振興財団の読書に関する調査によると、成人が一ヶ月に本を読む冊数は一冊という人が29.2%、一冊も読まない人が23.7%です。本を読まなくても不便がないという回答が51.6%で驚くばかりです。活字・文字文化は社会活動の基盤と言われていますが、その結果が就職しても営業日報が書けない、マニュアルが読めない。日本の将来を憂えるばかりです。ところで、私の職業は文字と最も関係の深い印刷業です。昭和22年、友人の薦めがあつた大蔵省理財局証券課に採用されました。その頃証券課では証券取引法（現在の金融商品取引法）の立案をしていました。最初に与えられた仕事は法案を複写することでした。今と違ってコピー機などなかった時代ですから毎日毎日、手を真黒にしてがり版刷りです。まさか印刷が一生の仕事になるとは夢

と し ょ か ん つ う し ん と し ょ か ん つ う し ん

トピックス

- 巻頭言「私の蔵書」野村正道……………1ページ
- 図書館と私「ランガナタンの図書館の五原則」橋美花里……………2ページ
- ザ・レファレンス「秋山伸一……………2ページ
- 生涯の「冊「スイミー」佐野輝香……………2ページ
- 「明治女学校百年」伊藤榮次……………3ページ
- ビジネスなどでも相談……………4ページ



第16号
季刊(春)
2010

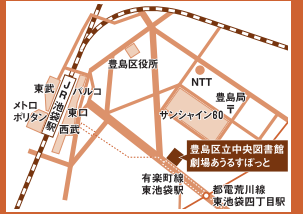
にも思いませんでした。終戦後の何の娯楽も無かつた頃ですから家に帰ると専ら読書です。蔵半紙に印刷したような本でしたが、それでも昭和22年全国書房発行の『お艶殺し』谷崎潤一郎の限定版は扉に著者の署名があり、本文は手書き美濃紙で定価百円、当時としては高価な本もありました。

平成13年新潮社から『明治天皇 上下二巻』が発行され出版記念の会が催されました。著者のドナルド・キーン氏、三笠宮殿下、外山明治神宮宮司等20名が出席しました。

当日のために作られた特製本は正絹張りの帙(※)に納められ、表丁に使用した布は明治の末期から昭和の始めに使われていたもので、天には金箔が施され一冊ずつすべて違った表丁です。受付で小さくたたんだ紙を頂きそれを開くと「本書はその十六番」そしてドナルド・キーン氏の署名があります。本にはそれぞれの思い出があり、大切に書棚に納めてあります。

(※ 和本などを保護するためのおひ)

発行 ●豊島区立中央図書館
東京都豊島区東池袋四十五-1
ライズアリーナビル四階 〒170-0844
電話 ●03-3598-1761
FAX ●03-3598-1904
ホームページ ●http://www.library.toshimato.kyo.jp
発行日 ●平成22年4月



新航路 [15]

視覚障害等の方々に本を届けたい ～ひかり文庫(点字図書館)

皆さんご存知ですか？ 中央図書館に点字図書館が併設されていることを。

点字図書館とは、視覚に障害のある方に利用していただける図書館で、中央図書館の一角(ライズアリーナビル5F)にあります。

設立は昭和45年、厚生省(当時)による点字図書館の認可は翌47年です。以来40年間、「ひかり文庫」という愛称で親しんでいたいております。

点字図書館が一般の図書館と異なるのはどこでしょうか？

その1 様々な種類の図書

中央図書館にも、一般利用者向けに大活字本や点字付き絵本といった種類の図書がありますが、ひかり文庫では、視覚障害の方々に以下の4種類の図書を扱っています。

- ①点字本…6点からなる点字で作ったもの
- ②録音図書…本を音読したものをテープやCD(デジジー)に録音したもの
- ③拡大写本…教科書などを大きな文字で作成したもの
- ④さわる絵本…材料を工夫し絵を半立体で表現した絵本

その2 図書は図書館で製作

現在視覚障害の方々の図書を市販されていますが、そのタイトル数は少なく、利用者のニーズに十分に配慮していません。そこで、私たち点字図書館をはじめ、全国の公立図書館などで視覚障害者向け図書の製作を行っています。

製作にあっているのは、ひかり文庫に登録しているボランティアの皆さんです。

ひかり文庫には、ひかり文庫点訳研究会、ひかり文庫朗読会、ひかり文庫拡大写本グループ、さわる絵本グループふたばの4団体が所属しており、図書館からの依頼により、各種図書を製作しています。

その3 少ない蔵書を相互貸借でカバー

1冊の図書を製作するには、何カ月もかかります。そのため、年間製作タイトル数も限られてしまい、蔵書も一気に増やすことはできません。利用者からのリクエストを当館のみで賄うことができないため、全国の点字図書館、公共図書館とお互いに図書の貸し借りをし利用者に届けています。

その4 電話でリクエスト、貸出・返却は郵送で

視覚障害の方は、来館が困難な場合も多いので、電話やメールでリクエストができます。

図書の用意ができれば、貸出・返却は主に無料の郵便(第4種郵便)で行っています。

<法改正で利用者拡大>

今年は、ひかり文庫にとって、大きな転換の年となります。昨年、著作権法が改正されて、これまで視覚障害の方に利用が限られていた録音図書を、その他の障害の方にも利用できるようになったのです。その他の障害の方とは、発達障害や、色覚障害など、通常印刷された本をそのまま読むことに障害のある方々です。また、これまでは、点字と録音図書のみ認められていた複製方式も、利用者が必要な方式で複製できるようになりました。

ひかり文庫が、4種類の図書を扱っていることは既に述べましたが、これからは、利用者が求める他の方式に対応できるよう体制を作っていくことが課題となっております。

新たに対象となる方々は、登録や利用方法が視覚障害の方とは異なりますので、お問い合わせください。

Current & Encounter

「幕末・維新の話題」

豊島区図書館行政政策顧問 粕谷 一希

幕末のどしまでのテーマで中央図書館の「地域研究ゼミナール」という勉強会を募ったなら、応募者が定員の倍になったという。やはり、明治維新は昭和より人気があるようで、豊島区ができたのは昭和7年だが、法明寺、鬼子母神、雑司ヶ谷靈園を中心とした地域の歴史はまだ未発掘の話題がたくさんある。彰義隊のテーマは永遠に語り継がれてゆくだろうし、さらに徳川の吉原の太夫の墓が本立寺には残っている。掃苔屋のわかれは、神社・仏閣を歩いているだけで一生退屈しないほど話題はある。豊島区図書館専門研究員の伊藤榮洪氏のような勉強家が側にいると明治女学院の場合も大いに刺激されたが、伊藤さんによると、波辺華山の蜜社の御は鶯鳴で起ったという。波辺華山が天才の画人であることは知っていたし、早く幕府を批判して獄に入り、若くして自殺したという歴史は知られていましたが、家老をしていた田原藩が鶯鳴にあつたということは気が付かなかった。伊藤さんのような篤学者が教科書の記述と地域をつなぐ作用をもっと進めると、歴史はもっと面白くなることだろう。

生涯、豊島区を離れないで、雑司ヶ谷墓地や、染井の墓地を丹念に歩き廻った伊藤さんの知識はすごい。人間はみなこうした存在を、友人・知人・先輩として持つと、人生の見方が変わってしまう。先亡くなってしまった前中央図書館長の如加館長は、福島県出身で会津若松の高校出身だった。一緒に維新の勉強をしませんかと誘いをかけると如加さんの表情が動いた。急逝はまことに残念だが、われわれは常に死者を抱えて歩いている。先に死した人々とは、生死を分けたのにも自然に對話していることが多い。この習慣をもっと身に付けた人が増えてゆけば、世の中の政治も少しは変わってくるのだから、最近の政策も歴史の知恵は生きていない。これでは二十一世紀の日本に期待はもてない。

生涯の一冊 (15)



【スイミー】
著者 レオ=レオ二
译者 谷川俊太郎
発行 誠実学社



ひかり文庫朗読会
会長 佐野 輝香

点字図書館ひかり文庫の朗読ボランティアとして、視覚障害者のための録音図書製作、対面朗読に携わって二十余年。より良き活動を目指して、仲間と共に頑張っています。

「ほくが目になる」とい

録音図書の作成を通じて、様々な本と出会ってきた。自分では選ばないような本も読む機会を与えられ、それまで知らなかった世界に触れて、新たな興味をかきたてられたり、感動したりすることがある。まさに、「未見の我」を発見する喜びである。そんなすばらしい本の中から1冊を選ぶのはとても難しい。ただ、家族の思い出と共に心に浮ぶのが、レオ=レオ二作『スイミー』である。これは、小さな魚のスイミーが、仲間と力を合わせて大きな魚に立向かうお話である。文題は、大きな魚のふりをした赤い色の仲間達に、1匹だけ黒いスイミーが呼びかける言葉である。

我が家では、小学校に上った長女の音読を聞いてお話を覚えた。次女が、「1人語りしながらこの科白(せりふ)のところに来ると、「ほくが目になる」と一声、スイミーになりきるのである。そして用を頼むと、このかけ声と共に、進んで引き受けてくれるようになった。他と違っていい。1人では無力でも力を合わせればできない事もできる。勇気を持つと、—といった大人の読む教訓はさて置き、子供は、一人ぼっちでこわい海を泳ぐスイミーの悲しさを体感し、それでもすばらしい事に会って行く過程に人生を見る。気後れして一歩が踏み出せない時、元気づけてくれたこの言葉は、家族のモチベーションに少なからぬ影響を与えたと思われる。因みに、我家のスイミーは今でも目立ちたがり屋である。

図書館と私 ③

豊島区立巣鴨図書館運営専門員
橋 美花里

ランガナタンの図書館学の五原則

「ランガナタンの図書館学の五原則」に出会ったのは司書の勉強を始めてすぐ、図書館通論の授業だった。歴史や目録法、サービス論などを学ぶ授業は、正直興味深いものと、そう感じられないものがあった。そんな中、特に感銘を受けたのはこの言葉だった。

インドの図書館学者ランガナタン (S.R.Ranganathan, 1882~1972) が1931年に提唱したもので、その言葉は簡潔で力強く分かりやすい。そして仕事の真理を現していると思った。

(1) 図書館は利用するためにある。(2) すべての人のために、それぞれが役に立つ図書をそなえる。(3) すべての図書が、それぞれの読者(利用者)を持つ。(4) 利用者、読者の時間を節約させるように。(5) 図書館は成長してゆく有機体である。

本を揃え、利用してもらい、初めて図書館は「生き物」になる。貸出と返却を繰り返し、書架の本の列は伸びたり縮んだりする。それは図書館が呼吸し

ているように見える。使いやすいように毎日本を並べ、居心地のいい空間を作るという事は、図書館が「生き物」になる手伝いだ。そして利用してもらって、初めて図書館は「生きる」。それを仕事に出来るのは、なんて魅力的な事なのだろうと思う。

本が大好きだという人も、そうでない人も、利用してもらえる図書館を作る。そしてその人の「この一冊」という本を出会う機会を作れたら、それは素晴らしい事だと思う。

提唱したランガナタン自身は、ワーカ・ホリックとして有名な人物で、20年間毎日13時間、一日も休む事なく働いたという逸話を持つ。理想の言葉を綴れる人物は、常人離れているものだ、凡人は思う。

ランガナタンの言葉を日々実現できているか考えると、とてもそうは言い難い。理想が実現できない事は多いが、理想の言葉を自分の内に持つ事で、少しでもそれに近づく事ができたら良いと思う。

ザ・レファレンス

—豊島区の歴史・文化がわかる本①—

ご案内：秋山 伸一(あきやましんいち) 郷土資料館 学芸員

本号から始まった「ザ・レファレンス」。豊島区の歴史・文化について書かれたさまざまな書籍を、郷土資料館学芸員の「眼」でご紹介いたします。中央図書館をはじめ、区内の各図書館に所蔵されているものを取り上げていくように心がけますので、「あ、これだ!」、「な〜るほど…」と思った方は、お近くの図書館で実際にお手にとってご覧ください。

私が勤務する郷土資料館の受付カウンターには、「豊島区の歴史について調べているのですが…」というお客さんがよく来られます。あまりにも質問内容が漠然としているため、もう少し突っ込んで話を聞いてみると、多くの場合、「戦前の巣鴨あたりのことを…」、「江戸時代の雑司が谷について…」というように、知りたい内容が少し具体的になってきます。こういう時にまず私たちがおすすめするのが『豊島区史(としまくし)』です。『豊島区史』は、原始・古代から昭和末年頃までを網羅的に扱っていますので、ほぼ100%の確率で何かからの参考になります。

しかし、『豊島区史』は、通史編4冊、資料編6冊、年表編1冊、地図編2冊のボリュームで構成されていますので、これら十数冊をまとめてドンと持つと、お客さんが「オオッ!」と怯んでしまいます。そこで、「戦前の巣鴨」のことであれば「通史編2」を、「江

戸時代の雑司が谷」であれば「通史編1」を1冊ずつ紹介するようにしています。一般の来館者の場合、ほとんどは「通史編」の記述だけで用が足りてしまいますので、「通史編」の記述の根拠史料を知りたいとか、大学の卒業論文執筆などの場合以外には、「資料編」を紹介することはあまりありません。ちなみに、「通史編1」は原始・古代から江戸時代まで、「通史編2」は明治時代から昭和20年の敗戦まで、「通史編3」は昭和20年の敗戦後から昭和30年代なかばまで、「通史編4」は昭和30年代なかばから昭和末年までを対象としていますので、参考にしてください。

なお、意外と知られていないのが「年表編」の使い方です。「年表編」の記述は、もちろんその名のとおり年表形式なのですが、巻末に索引が付されているため用語でも検索が可能です。例えば、「池袋駅」について調べたい場合、「年表編」巻末の索引で「池袋駅」を検索すると、「池袋駅」の語句を含む関連項目が〇〇年〇月〇日と出てきますので、該当する年代の記述をあたって行くと、池袋駅にまつわる記述が編年順に追えるわけです。出来事の概略や大きな流れだけを知りたい場合は、「通史編」のページをいちいち繰る必要がないので、時間の節約にもなります。ぜひ『豊島区史』活用の裏ワザとして試してみてください。

なお、中学生以下の児童・生徒には、『豊島区史』の記述を理解するのが難しいため、より平易に記述した『豊島風土記(としまふどき)』をすすめています。

あうるすぽっとからのお知らせ

「文楽・素浄瑠璃ワークショップ」

「文楽」の楽しみ方を素浄瑠璃とレクチャーで体験するワークショップ。能楽、歌舞伎とともに、日本の伝統芸能として世界に誇りうる優れた舞台芸術「文楽」。文楽の世界は三業(太夫、三味線、人形)で成り立っています。今回は、その文楽の魅力を手技芸員の太夫と三味線による素浄瑠璃の実演とレクチャーを通して体験していただきます。文楽未体験という方にも、その楽しさや奥深さに触れていただけるワークショップです。

出演 太夫：竹本相子(たけもとあいこ) 三味線：鶴澤清道(つるさわせいみち)
素浄瑠璃 「絵本太功記」～妙心寺の段～

日時 5月25日(火) 開演19時
料金 全席自由 3,000円
参加方法 チケットをご購入ください

チケット取扱

あうるすぽっとチケットコール 03-5391-0516
としまみらいチケットセンター 03-3590-5321
主催：豊島区/跡としま未来文化財団

会場・問合せ

あうるすぽっと 03-5391-0751
豊島区東池袋 4-5-2 ライズアリーナビル2F



©河原久雄

自主研究グループ紹介

幕末研究グループ

中央図書館「地域研究ゼミナール」卒業生で、卒業後も自主的に研究活動されている皆様をご紹介します。

私達のグループは地域研究ゼミナール「雑司ヶ谷霊園に眠る群像」、幕末に活躍した志士を学習してまとめて行くことからスタートしました。

雑司ヶ谷霊園には、教科書にでてこない、有名な人物が大勢眠っていることに感動しました。「小栗上野介」、「岩瀬忠震」、「中浜(ジョン) 万次郎」等、各個人で調べました。



その中でも、「小栗上野介」をグループでまとめ、「染井霊園の文学歴史散歩」とあわせて、平成21年4月の自主研究グループ成果発表会で報告いたしました。本年もお墓を中心として、染井霊園とその周辺のお寺に的を絞って研究を始めました。霊園のお墓を「文学者グループ」「芸術家グループ」「教育者グループ」「大名、政治家、実業家グループ」「医師、発明家グループ」の5つのセクションに別け、手の平サイズの小冊子にまとめて作成中です。

この資料の内容は、表面は取り上げた人物の簡単なコメント、裏面はお墓の位置とその廻る順序をわかりやすく記しました。取り上げた人物の一例としては、「高村光雲、光太郎、智恵子」、「水戸徳川家」、「幣原喜重郎」等々を掲載しました。この小冊子が利用される事を願っています。

現在、歴史好きの男女13名で毎月1回、なごやかに活動しており、幕末の歴史以外の話題ものぼり、年末には忘年会を催すなど、楽しくグループ活動しております。

また、グループのもう一つの活動として、自分達で調べるだけでなく、区内のことをもっと知ろうと言う発想で、豊島区の区民プロデュース講座に申請し、区の助成のもと、「伊藤榮洪先生」を招き、広く区民の方へも呼びかけ「もつとよく知ろう、みんなの郷土の歴史」のタイトルで3回開催いたしました。

明治女学校百年 伊藤 榮洪

「明治女学校」記念事業を終えて

明治41年(1908)12月25日、最後の卒業生4名を送り出して明治女学校は23年間の短い歴史を閉じた。18年に開校して、火災に遭い30年に巣鴨庚申塚の地に移ってきた。ほぼ麹町時代と23年間の歴史を二分する。

学校の校地は都電庚申塚停留所に近いところで、現在は高齢者の複合福祉施設「菊かおる園」が建っている。この建物と向きあうところに、「明治女学校跡」の記念碑と説明板が建っている。旧中山道(巣鴨地蔵通り)からすこし入ったところで、明治のそのころは鬱蒼と樹々が茂り、野鳥のさえずりがうるさいくらい「森」のようなところだった。30年に入学した野上弥生子が自伝的な小説に「森」の題名をつけたのはそのせいである。大分県臼杵に生まれ育った彼女でも、「自分のところよりもっと田舎だ」と驚いたような土地だった。小さい校舎のほか、武道館が建っていた。後援者の勝海舟が寄付したもので、学校が閉校したあとも、「森」の中にその建物が残り、近くの子供たちは怖々そこに近づいて遊んだ。

明治女学校は、キリスト教を母胎にしながら信仰の押しつけを全くなかった。信仰だけではない。教師がまちままと手を入れて、「盆栽のような」人間に育てようとするのが全くなかった。その人自身の持つ天分を伸ばし「大樹に育てる」ことを目標とした。だから学生たちはみないきいきとここに学ぶことに陶醉した。校長の巖本善治の講話(彼は「演説」といつていた)を聞くことに学生たちは胸をおどらせた。涙ぐんで聴き入る者もいた。溢れるようなよろこびで学校生活が営まれていた。

教師陣もユニークだった。清水紫琴、田辺花園、津田梅子、荻野吟子ら、島崎藤村、北村透谷、大和田建樹らの時代の先端を行く女性たちや詩人たち、またこの学校で発行していた『女学雑誌』、『文学界』の文学的香気も極めて魅力的だった。

そんな学校が消えていったのは、明治という時代の流れそのものに理由があったろう。明治女学校が発した18年は坪内逍遙の『小説神髓』が出た年で、新しい文学への希望が湧きあがっていたときだが、学校が閉ざされた41年の2年後には、石川啄木が『時代閉塞の現状』の文章を書いている。そのまま明治女学校、明治という時代の希望の暁鐘から、葬送の曲といったところだ。

染井霊園に巖本善治とその妻若松賤子の墓がある。桜のころは霊園も明るくなる。ぜひその墓に詣で、消えたあの日々を偲んでいただきたい。霊園にはまた、相馬黒光の後ろ盾となり、彼女を「大樹」に育てる力となった島貫兵太夫の墓もある。

明治女学校が閉校して百年、これを記念して展覧会、関係者によるトーク会を催してきた。その内容が一本に纏められている。ご希望の向きはお申し出いただきたい。記念事業へのご声援を深く感謝します。

豊島区伝統工芸

豊島区伝統工芸保存会会員の皆様をご紹介します。



東京藤工芸 鎌田 恵美子さん

◆ 藤工芸との運命の出会い

池袋駅から明治通りを10分ほど歩いた通り沿いに建つマンションの一室に、「手作り工房かまた」鎌田恵美子さんの自宅兼工房がある。鎌田さんと藤工芸の出会い、今から約40年前、結婚して嫁いだ先が藤製品の製造販売会社を営んでいたのがきっかけである。当時、藤工芸の人氣が高く、家業が繁盛を極め鎌田さんも家業の手伝いを始めたところ、手先の器用さが義父の目に止まり本格的にこの世界に入ることとなった。その後、技術を習得しながら日々腕を磨き、数年後、義父の勧めで藤工芸学校を開講した。新聞で生徒募集をすると、すぐにいっぱいになってしまふほどのカ

ルチャー教室ブームと相まって、たくさんの受講生に藤工芸の素晴らしさとその技術を教えた。現在、学校は閉校し、区内の巣鴨地域文化創造館で月一回、藤工芸教室の講師をされている。

鎌田さんの作品は、極少幅(1〜2mm)の藤やアケビ、ブドウの蔓(つる)を使って編み込んだ軽い素材の買い物かごやハンドバックなどが中心で、和紙と藤を組み合わせて作ったくすかごなど、今までになかった作品にもチャレンジしている。最近、仕上げの染料を工夫して、四季を問わない色合いの一年中使えるバックを製作して人氣を博し、贈り物としても重宝されている。「趣味と言えば、手芸です。」と言、根っから器用で、手先を使うのが大好きな鎌田さん。取材の合間、二人のお孫さんと楽しそうに童謡を歌っていらつしやる光景を見て、その愛情の深さとお人柄の良さを実感した。



お店探訪 ~菓子工房 プランタン~

主任パティシエ 島崎 哲成さん

甘い香り漂うキャンパス

JRまたは地下鉄南北線の駒込駅を出て、本郷通りのなだらかな坂を5分ほど下ると、女子栄養大学駒込キャンパスがごぞいます。訪れる方は、構内に漂う甘い香りにまず気づかれる事でしょう。「ここから匂ってくるのだから?」、もれてくるその香りの正体が私どものお店、菓子工房「プランタン」です。毎日焼き上げるクッキーやパンそしてケーキは地元のお客様に好評を頂いております。最近注目されている「葉酸」という栄養素を取り入れた製品も売り出しています。昔、このキャンパスの場所は徳川光圀卿が松柏軒と名づけた仙台湾の下屋敷でした。大正時代には当時の所有者のお屋敷に中国の孫文先生が寄寓されたそうです。近くにはバラの見事な旧古河庭園、枝垂れ桜の六義園、桜で名高い飛鳥山公園や染井墓地、と皆様のご散策の折にもよくご利用いただいております。小さな店内ですが喫茶もできます。未来の栄養士や調理師やパティシエをめざして学ぶ今の学生さんを観察しながら、花や歴史探訪のご本を聞き、お茶とケーキで一息ついてくださいますよう、お待ちしております。



千早図書館友の会主催・千早進歩自由夢月例会

※皆様のお越しをお待ちしております。ふるってご参加ください。申込不要。当日、直接会場または集合場所にお越し下さい。

◆千早進歩自由夢(4月例会・講演会) ※当日先着50名、参加費無料
 【日 時】4月9日(金) 午後1時半開場 午後2時開演～午後4時
 【会 場】千早図書館 2階 視聴覚室
 【講 演】『どうしてどうして?』
 【講 師】アーサー・ピナード氏
 【講演内容】
 答えを見つけること、疑問を見つけること、どちらが大事? 子どものエネルギーと好奇心と、大人の知恵と経験の豊かさを、どうつなげていけたらいいか。絵本と昔話を通して、詩人は探ります。

【講師略歴】

アメリカ・ミシガン州生まれ、米国コルゲート大学で英米文学を学び、日本語にも興味を抱き、1990年来日。当時、池袋に住み、池袋モンパルナスの代表的な芸術家 小熊秀雄の童話に出会い英訳にとりかかると同時に日本語での詩作を始める。2001年に詩集『釣り上げては』(思潮社)で中原中也賞、2005年『日本語ほこりぼこり』(小学館)で講談社エッセイ賞、2007年『ここが家だーベンジャミンの第五福竜丸』(集英社)で日本絵本賞、2008年『左右の安全』で山本健吉文学賞(詩部門)を受賞。
 詩人・俳人・随筆家・翻訳家・エッセイ、絵本、ラジオパーソナリティなど幅広く活躍している。

◆千早進歩自由夢(5月例会・史跡散歩)
 【日 時】5月15日(土) 午後1時半 都電荒川線・東池袋四丁目駅大塚方面改札口集合。または、午後1時 東京メトロ有楽町線・千川駅でも可
 【場 所】「紙の博物館と飛鳥山辺を歩く」
 北区にある「紙の博物館」(旧、王子製紙)と「渋沢史料館」を見学し、博物館の学芸員さんから説明を受けます。また、時間のある方は、近辺の史跡等を散策します。
 *参加費は掛かりませんが、交通費・入館料 各館300円については、個人負担となります。

◆千早進歩自由夢(6月例会・講演会) ※当日先着50名、参加費無料
 【日 時】6月19日(土) 午前10時～正午まで
 【会 場】千早図書館 2階 視聴覚室
 【講 演】『クラシックおもしろエピソードと名曲』
 【講 師】音楽評論家 宮本 英世氏
 【講演内容】
 「クラシックという難しい堅苦しいと思っている方が多いと思いますが、実はそうではありません。よく探すとおもしろい曲、びっくりするような曲が多数ありますよ」と宮本先生。
 先生のユーモアあふれる解説を聞きながら、名曲をお楽しみ下さい。

ビジネスなんでも相談

中小企業診断士が、創業・起業・多角化・経営・金融などのお悩みに、無料で相談に応じます。お気軽にご利用ください。

※平成22年4月より、開催日時、お問合せ先が変更となります。

【開催日時】毎週土曜日

午前10時30分～午後4時30分

※ただし、年末年始・図書館休館日(特別整理期間等)はお休みです。

その他、今年度は、5/1、6/26、8/14はお休みです。

【会 場】豊島区立中央図書館 4階ビジネス支援コーナー
 【相 談 員】NPO法人としま創業ネットワーク中小企業診断士
 【申 込 み】当日直接会場へお越しください。(状況によってお待ちいただく場合があります)

【問 合 せ】としまビジネスサポートセンター
 03-5992-7022
 (受付時間：平日午前9時30分～午後4時30分)

図書館からの
お知らせ

図書館イベント情報

◆児童・あかちゃんおはなし会

毎週、おはなし会を開催し本の読み聞かせなどイベントを行っています。遊びに来て下さいね。

主催/会場	おはなし会開催日		スペシャルイベント		
	幼児・小学生	あかちゃん	4月	5月	6月
中央図書館 児童コーナー	日曜日 午後2時	最終日曜日 午前11時	★18日・おはなし会スペシャル 午後2時 ～子ども読書の日記念～	★2日・おはなしこうさく会 午後2時 ★29日・豊島岡女子学園によるおはなし会 午後2時 ★30日・子どもと本をつなぐボランティア団体によるおはなし会(池袋親子読書会) 午後2時	★6日・おはなしこうさく会 午後2時 ★20日・子どもと本をつなぐボランティア団体によるおはなし会(巣鴨親子読書会) 午後2時
駒込図書館 (駒込地域文化創造館)	土曜日 午後3時	—	—	—	—
巣鴨図書館 地下会議室	水曜日 午後3時	最終水曜日 午前11時	★21日・ほんのじかん 子ども読書の日スペシャル 午後3時 ★28日・ほんのじかん 工作(こいのぼり) 午後3時	—	—
上池袋図書館 おはなしのへや (※は地下ホール)	水曜日 午後3時	最終水曜日 午前11時※	★21日・さくらんぼ おはなしかい 子ども読書の日スペシャル 午後3時(※)	★26日・さくらんぼ えいがかい 午後3時(※) 「10ぴきのかえる」(21分) 「トムとジェリー」(7分)	—
池袋図書館 ワークルーム	土曜日 午後2時	—	★17日・おはなしたんぽぽ 子ども読書の日スペシャル 午後2時 ゲスト 木坂涼さん(詩人)	★22日・たんぽぽえいがかい 午後2時 「ゴマちゃんの交通安全」(15分) 「海ひこ山ひこ」(15分)	★26日・たんぽぽえいがかい 午後2時 「こぎつねコンとこだめきボン」(21分)
目白図書館 地下区民集会室	水曜日 午後3時	第1水曜日 午前11時	★21日・あいうえおはなしかい 子ども読書の日スペシャル 午後3時 ★28日・かきくけこうさくかい 午後3時 「すいーととが ストローひこうき」	★26日・めじろこどもシアター 午後3時 「おやゆびひめ」(20分)	★23日・かきくけこうさくかい 午後3時 「ポツポツポツあめのおと」
千早図書館 視聴覚室	水曜日 午後3時30分	水曜日 午前10時30分	★21日・ほんとこおはなしかい 子ども読書の日スペシャル 午後3時30分	—	—

日程・会場等が変更になることがあります。事前にお問合せください。

図書館カレンダー

○は土日祝 ■は休館日

中央図書館

開館時間
平日 午前10時～午後10時
土日祝 午前10時～午後6時

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

駒込・巣鴨・上池袋・池袋・目白千早図書館

開館時間
平日 午前9時～午後7時
土日祝 午前9時～午後5時

日	月	火	水	木	金	土
						1 2 3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

雑司が谷図書貸出コーナー

開館時間
平日 午前10時～午後7時
土日祝 午前10時～午後5時

日	月	火	水	木	金	土
						1 2 3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

特別整理休館のお知らせ

巣鴨図書館	5月19日(水)～5月24日(月)
千早図書館	5月26日(水)～5月31日(月)
池袋図書館	6月2日(水)～6月8日(火)
上池袋図書館	6月9日(水)～6月15日(火)
目白図書館	6月16日(水)～6月19日(土)
中央図書館	6月23日(水)～6月30日(水)
雑司が谷 図書貸出コーナー	6月23日(水)～6月30日(水)

上記の日程で休館になります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をよろしく願います。
 ※駒込図書館の特別整理休館は、未定です。決まり次第、お知らせします。

編集後記

中央図書館では、「特別展示コーナー」で劇場「あうるすぽっと」の公演や図書館イベントに関連した本、世間で関心の高いいテーマなどの本を特集展示しています。最近では、健康に関する本が人気です。皆様、中央図書館にお越しの際は、ぜひご覧ください。(光)